

令和４年度 第２回宗像市地域公共交通会議 会議録要旨

日 時	令和５年１月１９日（木） １４時００分～１４時３０分
場 所	宗像市役所１階 第１０３Ｂ会議室
出席者	【委員】高崎浩（会長）、高島巧、森正彦、櫻井章生、中西正一、高見邦雄、黒川貞一郎、高巢和彦、原口貢、大枝良直（副会長） 西脇考志（代理）、宮地信裕、棚橋美智子 【オブザーバー】榊田豊滋、田辺好徳、二宮圭亮、久池井隆 【事務局】内田忠治、許斐知加、金子聡志、中村亮介、大塚彩花（都市再生課）
確認事項	１ 会長及び副会長の選出 ２ 運営方針及び傍聴要領の確認
協議事項	１ オンデマンドバスの乗降地点の新設について ２ 宗像市大島における有償バスの運行について
報告事項	１ オンデマンドバスの実績報告 ２ オンデマンドバスの運行計画について
そ の 他	次回会議日程

区分	発言内容等
事務局	今回の会議から新たな任期となっており、満了日は令和６年１０月１日。 確認事項１ 会長及び副会長の選出 宗像市地域公共交通会議規則第４条第２項の規定により、会長及び副会長を委員の互選により定める必要があるが、立候補者がいないため、事務局案として会長に高崎委員、副会長に大枝委員を提案し、承認を得る。 確認事項２ 運営方針及び傍聴要領の確認 前回の会議から変更は無い。
高崎会長	協議事項１ オンデマンドバスの乗降地点の新設について 事務局から説明をお願いする。
事務局	○協議内容：オンデマンドバスの乗降地点の新設について ○実施理由：オンデマンドバスの運行継続にあたり、利用者やコミュニティからの要望を踏まえ、区域内の乗降地点を追加するもの。 ○実施予定日：令和５年４月１日（土） ○対象となる乗降地点 【新設】 ・名称：久原② メイトム宗像 - 場所：宗像市久原１８０ （資料では「久原①」と記載されているが、正しくは「久原②」）
高崎会長	事務局から説明があったが、質疑等はあるか。（一同発言なし） 協議事項１について、協議が調ったということでよいか。（異議なし）
高崎会長	協議事項２ 宗像市大島における有償バスの運行について 事務局から説明をお願いする。
事務局	○協議内容：宗像市大島における有償バスを、今後１年間についても継続して運行を行うもの。 ○関係機関との調整：大島地区コミュニティ運営協議会役員会に説明済。運行事業者とも調整済。 ○実施期間：令和５年４月１日（土）から１年間

	今年度の利用者数は、コロナ禍以前の水準を超える月もあった。
高崎会長	事務局から説明があったが、質疑等はあるか。
久世委員 代理：西脇氏	資料（２）－２中のバス停は全て「新設」となっているが、これは１年前の資料をそのまま使用しているからであり、実際は今年度と変更は無いという理解でよいのか。
事務局	ご指摘のとおり。
高崎会長	資料（２）－２は訂正するのか。
事務局	昨年、資料を提出する際に「新設」と記載するよう指示があったため、今年度もそのように資料を作成したが、確認後、必要があれば訂正する。
高崎会長	その他、質疑等はあるか。（一同発言なし） 協議事項２について、協議が調ったということでよいのか。（異議なし）
高崎会長	報告事項１ オンデマンドバスの実績報告 事務局から説明をお願いします。
事務局	令和３年４月から令和４年１１月までの運行事績を説明 ・導入以来、登録者数及び利用者数が増加しており、重複利用者（週に２回以上乗車）も倍増。「のる一と」の認知度が向上し、利用が広がっている。 ・通勤通学と日常生活の双方で活用されており、幅広い年代の利便性向上に寄与している。 ・「のる一と」の利用を前提とした行動がされており、生活の足として定着。
高崎会長	事務局から説明があったが、質疑等はあるか。（一同発言なし） それでは、報告事項１を終了する。
高崎会長	報告事項２ オンデマンドバスの運行計画について 事務局から説明をお願いします。
事務局	路線バスの代替交通として令和３年３月から２年間の実証運行ということで開始していたが、先ほど報告したとおり、利用が定着しているため今後も継続して運行する。 令和５年４月１日からの運行計画について、基本的な利用方法や運行区域、料金の変更はないが、メイトム宗像を乗降地点として追加し、日の里地区内の乗降地点数が６３ヶ所から６４ヶ所に変更となる。 また、４月より電話自動音声受付を追加し、音声ガイダンスに従って番号の入力をすることで、乗車予約ができるようになる。アプリと同じく２４時間利用可能。これに伴い、有人での電話窓口の受付時間を９時から１７時までに変更する。
高崎会長	事務局から説明があったが、質疑等はあるか。
原口委員	オンデマンドバスはどういった時間帯で走っているのか。
事務局	時刻表は無く、平日は６時から２１時、土日祝は６時から１８時まで、お客様の予約に合わせて走っている。
森委員	オンデマンドバスを、どの年代の方がどのような目的で利用されているのか、情報を持っていれば公開してもらえないか。
事務局	先日、バスへ調査員が乗り込みアンケート調査を実施したため、その結果がまとまり次第報告する。
森委員	自宅にアンケートが届いたが。
事務局	こちらで行ったアンケート調査と、大学が実施したアンケート調査がある。
大枝委員	１１月中旬に日の里地区でアンケート調査を実施した。現在集計中のため、次回もしくはその次の公共交通会議で情報共有する予定である。
棚橋委員	オンデマンドバスにより生活が便利になったが、土日祝は１台運行のため、乗りたい時間が乗務員の休憩時間にあたると利用できず不便という声を聞いた。一方、タクシーを予約しようとした際、以前ほどタクシーの予約が取れないが、こ

	れはオンデマンドバスの運行の影響を受けているからか。
森委員	タクシーが予約できないのは、乗務員不足によるもの。また、乗客も減っている。そのため、いつでも運送手段があるのではなく、必要な時に少しお待ちいただいて、乗っていただきたい。タクシー事業は少なからずオンデマンドバスの影響を受けていると理解しているが、どちらも生き残ることができる方策を考えているところである。
高畠委員	一般乗合バス事業も、コロナ禍の影響で乗客は2割程度減っている。収支改善策を現在も考えているが、運輸業界は大変厳しい状況にあり、乗務員不足についても苦慮している。このような状況にあることをご理解いただけたらと思う。オンデマンドバスについては、周辺地域でも導入が始まったが、日の里地区での取組のことを尋ねられる機会が多い。取組を進めるにあたり、地域と自治体との温度差をなくすことが肝心だと思う。一人でも多くのお客様に利用していただけるよう、今後も取り組んでいく。
高崎会長	その他、質疑等はないか。（一同発言なし） それでは、報告事項2を終了する。
高崎会長	これをもって令和4年度第2回宗像市地域公共交通会議を終了する。

(以上)